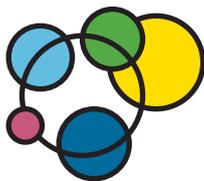


# そわにえ Soigner

第7号

『Soigner (ソワニエ)』とは、  
「世話をする・手当てする」という意味の  
フランス語です。

2006年10月15日発行



発行/東京訪問看護ステーション協議会 (責任者 森山弘子)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17  
社団法人東京都看護協会内  
TEL : 03-5229-1534・1520 / FAX : 03-5229-1524

INDEX/

- |               |             |
|---------------|-------------|
| さんぽみち……………①   | ステーション紹介…⑤  |
| 医療施設説明会……………② | みんなで考えよう…⑥  |
| 学会に行こう……………③  | 委員会報告……………⑦ |
| 研修委員会より……………④ | 編集後記他……………⑧ |



『志木・平林寺の紅葉』 練馬区 磯村豊三さん撮影

この協議会の顧問で、東京都医師会長の鈴木先生にお会いし、医師会活動の現状や訪問看護師たちへの要望、メッセージを伺いました。また、私たちの現場の声もお話ししてきましたので、その中身をご紹介します。

**鈴木会長からのお話。**

- ・今後、在宅医療がすすむ中で、必然的に認知症の高齢者も増えていくので、医師会としても今、認知症サポート医を養成している。
  - ・終末期医療に対しても一般医へ浸透させていく活動をしている。
  - ・介護予防も視野にいれ、これからの在宅ケアの医療を、私たちと手を取り合って担っていききたい。
  - ・在宅療養支援診療所については、本当に制度通りの動きが始まるのはこれからであり、現実的にはまだ体制として解決できない問題が今後の在宅医療の課題になっていくであろう。
- また、私たちからの要望として、『訪問看護の対象者は実は高齢者ばかりでなく、小児、若年の障害者、精神障害の方など多岐にわたっている。しかし、現制度では訪問看護の提供の場が在宅に限り、小児や若年者施設への訪問には報酬が



**東京都医師会長 鈴木聡男先生とお会いして**



つかない。通所療養介護も決められた対象者しか報酬は保険で認められず、24時間在宅で家族の医療処置に追われる介護者のためのレスパイトのお手伝いが出来ない。地域におけるノーマライゼーションの観点から、私たちの活動の場が施設、学校などまで広げられる事を切望している。』旨をお話しました。

これには鈴木先生も学校医の協議会で訪問看護ステーションの役割などもっと、アピールして下さると話して戴きました。高齢化社会が加速するなか、家族や制度だけでは高齢者を支えきれなくなります。これから最も必要とされるものは「地域力」です。「行政」だけでも「医療」だけでも「福祉」だけでもなく、これらがうまく協同し合って地域に解

け込み、「地域力を高める」には、まさに私たちが適任者であるのご意見を頂きました。

医師と看護師は不朽のパートナーです。時代のニーズにあった医療を提供していけるよう今後も支援し続ける約束をして下さいました。鈴木会長には、お忙しい中お時間を戴いた事を感謝致します。ありがとうございました。

8月25日 東京都医師会館にて(レポート: 広報委員 天木・椎名)

## 訪問看護をアピールしてきました

平成18年7月8日土曜日、18年度の「医療施設説明会」が東京都立産業貿易センター（浜松町）で行われました。

私たち協議会は、「訪問看護の理解と普及に関するイベント」をナースプラザから委託され、「訪問看護ステーションのお仕事紹介」を行いました。

このイベントの準備に、山田京子副代表（浅草医師会立ST）をリーダーに、訪問看護推進委員と広報委員、その他有志協力者の10名で「わかってもらおうプロジェクト」と称して企画を練りました。どうやったら求職のため来ている看護師に、この魅力的な仕事をわかってもらえるのか？

一人でも仲間を増やしたい一心で夜遅くまで、企画と準備にみんなで知恵を絞りました。訪問看護師を募集しているステーションはパンフレットを送るようにと事務局に呼びかけてもらおうと、何と協議会会員の131ステーションが送ってきました。何処も人手不足、看護師が欲しくてたまらないのだな〜とつくづく感じました。

当日、この説明会では、都内看護学校生、再就職希望の看護師約210名が参加されていました。一方、求人に来てきた病院も160ヶ所を数え、まさに「看護師争奪戦」のような雰囲気だったとは言い過ぎでしょうか？

それでは、私たちが実施したイベント内容をご紹介します。



### オンリーワンの看護

「こんにちは〜！」と玄関を開けると、その方のためだけの、大切なケアの時間が始まります。

赤ちゃんから高齢者まで、どんな状態になっても、住み慣れた地域で暮らしたい・・・そんな方々を支えるのが訪問看護師です。

患者さん・ご家族と共に、在宅療養生活をつくりあげていく。それは人間と人間の大切な関係です。

そこには、オンリーワンの看護を待っているすてきな笑顔があるんです。

**さあ、あなたも訪問看護を始めてみませんか？**

《東京訪問看護ステーション協議会》

#### Case 1

ずっとこの家にいたい

Aさん夫婦  
夫 83歳 妻 80歳  
要介護4  
要介護3  
訪問看護歴 7年3ヶ月

Aさん夫婦とはもう7年の長い付き合い。住み慣れた家にずっといたいという希望があります。もちろん二人一緒に、いつまでも。

Bさん 88歳  
要介護2  
訪問看護歴 7年1ヶ月

Bさんは認知症のセルフケア7年目の大ベテラン。何でも自分でやろうと心がけられるので、看護師はサポートする役割です。わいせつ心はその自立心をそっと支えています。

#### Case 3

生活の一部に医療機器

Dさん 82歳  
要介護5  
訪問看護歴 5年

自宅で認知リハビリを行っているDさん。先達の在宅医療機器を家族が安心して使えるようサポートしています。

Eさん 70歳  
要介護3  
訪問看護歴 1年

リウマチを抱えるEさんでの生活を余儀なくされているEさんは、人工関節と在宅医療を使っています。一人暮らしのため、少しでも自分でできることを増やそうと探求しています。この説明会をきっかけに、レスポーターのしゅぼもきれいになりました。

展示したパネルの一部

### 1. パネル展示

在宅療養や訪問看護の現場での情景写真をパネルにし、展示を行いました。利用者と訪問看護師の笑顔に心がなごみます。

### 2. お茶の間医療の現場（最新医療器械）

在宅の様子が伝わるようにブースの一箇所にリアルなお部屋をつくりました。各メーカー様からのご協力もあり在宅酸素、人工呼吸器、腹膜透析、輸液ポンプ等の最新医療機器の展示をし在宅看護の医療水準の高さをアピールしました。

### 3. ビデオ上映

訪問看護を紹介するビデオ上映として、フジテレビで上映された「やがて来る日のために」。財団作成の訪問看護の紹介ビデオを上映しました。

### 4. アロマセラピーの実演と紹介コーナー

訪問看護の現場で看護師が行っているアロマセラピーを実演しました。実際にアロマオイルを使用してのハンドマッサージの実演は大盛況。人の手のぬくもりはまさに看護の基本です。

### 5. 訪問看護相談コーナー

訪問看護ってどんな内容のお仕事ですか？夜勤はあるのですか？来場者の質問に答えました。併せて、求人ステーションのパンフレットの配布と紹介をしました。

看護師不足は病院もステーションも同じです。ナースバンクにはこれ以外にも老健、特老、デイサービス、有料老人ホーム、訪問入浴会社など看護師はとにかく引っぱりだこです。毎年養成される看護師はおよそ45,000名、なのにいつまでも人手不足が続いています。看護師がまだまだ女性の職業であり、結婚・出産・育児・介護など家庭人としての女性の役割を求められる時期もあります。仕事自体がきつく、社会的評価がまだまだであることも原因しているのかも知れません。いくつもの社会情勢や女性問題、その他色々が絡み合っただけの問題は解決が難しいのでしょうか。しかし、一人でも多くの看護師が在宅のフィールドに飛び込んで来てくれたらなあと思いました。



アロマセラピー実演の様子



各ステーションの求人パンフレットを展示しました。



このイベント用のパネルを撮影してくれたカメラマンの大貫さん夫妻です。普段ご主人はJRの職員、奥様は保育園の保母さんをしています。初めて見る在宅ケアの様子に感心したり、興奮したり、一緒に楽しい撮影の機会を持ってました。ありがとうございました。



当日は東京都看護協会森山弘子会長も応援に駆けつけて下さいました。上段左から阿部・萩原・国分・堀村・山田・内田・落合 下段左から鶴澤・伊藤・天木・高原・森山会長



訪問看護相談コーナー

## 学会に行こう

皆さん、訪問看護師たちを応援する冊子「Run&up」をご存知ですか？この学会のレポーター募集に応募したら運良く採用され、札幌で開かれた呼吸器管理学会へ参加してきました。今頃皆さんのステーションにも秋号が届いている頃かと思います。日々訪問と雑務に明け暮れ、職場と自宅の往復にくたびれていたところ、北海道へのレポーター依頼、初夏の札幌は風もさわやかで、満開のラベンダーを眺め、本



ラベンダーの花が咲き乱れるゆったりとしたコンベンションセンター内

ランナップ秋号表紙

当に良い気分転換になりました。

秋本番、日本全国いろいろな場所で開催されています。皆さんも気軽に投稿や応募をしてみませんか？広報委員では、巻末に掲載されている日本在宅ケア学会へ参加してレポートしてくれる方を募集します。学会の参加費用、交通費を支給しますので投稿用紙にて事務局までお申し込みください。皆さんのご応募をお待ちしています。

(天木)

## 東京訪問看護ステーション第1回研修会報告

### ～在宅療養支援診療所の現状～

研修委員長 曾木はま子

平成18年9月21日に東京都看護協会会館2階サークル室において、第1回の研修会が行われた。テーマは制度改正により18年4月から開始した「在宅療養支援診療所の現状」。発表者は行政側として東京都福祉保健局指導監査室、高木氏・在宅療養支援診療所の井尾医師・在宅療養支援診療所と連携しているST所長篠原さんの三者に来ていただいた。研修委員としては、今回の研修の目的を次の3点にした。

- ①アンケートをして現場状況を把握する。
- ②研修により現場の問題整理と解決に役立てる。
- ③研修後参加者へアンケートを実施し研修の効果を計る。

①の事前のアンケートでは（回答110st）80stが在宅療養支援診療所と連携しており連携する時の約束は「単に口頭での依頼のみ」が42st。「口頭での連携内容の確認」が35st。「文書での連携内容の確認」が13st。「契約書の取り交わし」が1stであった。また連携を約束していない利用者を在宅療養支援診療所からの依頼で訪問したことがあると回答したのは2stであった。このアンケートで会員stから寄せられた内容は、高木氏へ資料としてお渡しした。

②の研修には91名が参加した。まず、東京都福祉保健局指導監査室の高木氏が制度について発表した。この制度は現在も検討が重ねられており、今後も変更が考えられるため常に新しい情報を得るアンテナを立てておいて欲しい、告示・通達等はわかりにくい内容だが、十分に読み込んで欲しいとのメッセージがあった。

高木氏が強調されたのは、利用者からのファーストコールは原則、在宅療養支援診療所が受けることになっている。医療、介護保険上の緊急訪問看護、緊急時訪問看護と混同しないことなど、在宅療養支援診療所とステーション間で、契約を書面で交わすべきだとの見解を得られた。

次に在宅療養支援診療所、井尾クリニックの院長、井尾氏より活動状況報告が行われた。

今回、診療報酬が跳ね上がったのを機に多くの診療所が申請したが、次第に淘汰されるべくだろうとの見解であった。また在宅療養を支える診療所としての条件が提示され、同感と思われた方も多かったと思われる。最後に井尾医師と連携する東大和訪問看護stの篠原所長より報告があった。経験から導き出された、ステーション側から連携に求められる診療所の条件が示され、共感をえられる内容であった。

③の研修後アンケート（回答68名）では、62名が「研修が参考になると思う」と回答。在宅療養支援診療所との連携については「更に連携を進めたい」が32名。「現状維持」が25名。「連携しない」が6名。「無回答」5名であった。その他意見として「情報が少なかったので制度に関する確認ができてよかった」や「連携の契約書のひな型が欲しい」、「連携のための体制作りに関する情報が欲しい」との意見等が寄せられた。

制度開始から6ヶ月経っての研修会だったが、制度の解釈が困難であること、情報量の少なさが混乱の一因だったようだ。制度創設前に説明会が行われていればと考えさせられた。今後は地域で連携状況や情報を共有しながら、制度内容の変化にアンテナを立て、対応して行くように備えたい。

井尾先生と篠原所長→

↓熱心に取り組む受講生



## チーム医療をめざすナースのために!

# 看護のための最新医学講座

監修 ● 日野原重明 / 井村裕夫

オールカラー / B5判 / 平均420頁 / 新上製 / 分売可

全36巻

クリニカルコース24巻 / スペシフィックコース12巻

全36巻 ..... 定価378,000円(本体360,000円)

クリニカルコース24巻 ..... 定価241,920円(本体230,400円)

スペシフィックコース12巻 ..... 定価136,080円(本体129,600円)

●1冊からでも注文いただけます(各巻平均10,500円)



サンプルページ集・パンフレット進呈中!

## エビデンスに基づく看護の総合誌

[季刊]

イー・ビー・ナーシング

EBNURSING

年4回発行(12,3,6,9月)  
B5変型判/平均約130頁  
(定期購読)年間5,880円(税込)

Vol.6 No.4 特集

せん妄ケアはどこまで進んでいるか

有効な予防法・対処法のエビデンス

定価1470円(税別)

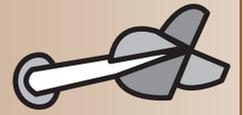


せん妄ケアはどこまで進んでいるか  
有効な予防法・対処法のエビデンス  
定価1470円(税別)

中山書店

〒113-8666 東京都文京区白山1-25-14  
http://www.nakayamashoten.co.jp/

フリーダイヤルTel. 0120-377-883  
フリーダイヤルFax. 0120-381-306



## ステーション紹介

### 板橋ロイヤル訪問看護ステーション

法人の運動会中、アキレス腱断裂の怪我が、所長になるきっかけでした。その時、在宅部門では、ステーション立ち上げの準備中でしたが、所長席、管理者研修が空白でした。「遊んでいる（リハビリ中）吉田」に研修に出るよう、業務命令がありました。表参道の看護協会にギプスで重い脚を慣れない松葉杖で通えたことが懐かしく、その間の担い手の確保、黒字、赤字、黒字をスタッフとともに歩み続けて、11年が経ちました。

#### 訪問看護にできる創意工夫

介護保険と同時期、事務所の移転、ヘルパーステーションの併設、アセスメントツール（KOMIチャート2001）の入れ替え業務で、疲労が脚にきました。冷え、だるさ、浮腫みを何とかしようとフットマッサージ店で、芳香植物から抽出したオイルで全身マッサージを受け、元気を取り戻しました。回復が早いのはなんだろう？と思ひ情報を集めると、フランスではアロマセラピーは医療の分野であり、フットケアは、特にドイツでは国家資格に位置付けられて「ポドロジー=足学」の職業であることを知りました。

ステーションにおいては、ケアの視点から捉えアロマセラピーやポドロジーの知識、技術をきちんと習得し、学習会を重ね日々の生活過程のケアに創意工夫ができるようになり、介護保険と一緒に歩み、ステーションの特徴としてケアに取り入れております。

#### 複合型の訪問看護機能が功をなす

救急病院の併設ステーションとして、避けて通れない医療依存度の高い利用者を受けるとに当たり、看護と介護の重なるケアを協働する事が時代の流れの中で求められるだろうと予測し、ヘルパーステーションを設立。5年が過ぎた今例えば、人口呼吸器装着のケアを同じ事業所から看護、介護の役割を担い、重なる部分のケアの質も同じように提供できるように成長しています。

ケアマネ業務は、以前は支援センターと連携し兼務で携わっていましたが、今年度より独立しました。

制度の見直しや法人の方向性を見据えながら、「どのような事業所」にしようかと、皆の創造性を出し合ってきたことが、ケア（看護・介護）の視点にたち、それぞれの役割を遂行できているのではないかと思います。そこには、香りの存在も大きいと考えます。

#### 香りは脳にダイレクトに働きかけてくれます

嗅覚刺激を受けるとその香りの刺激はダイレクトに、大脳辺縁系に働きます。そこには、海馬は記憶を司り、扁桃核は快・不快を司り、そして帯状回は意欲を司り、いい香りと脳が受けいれると快適な気持ちになります。そうすると体内で快適なホルモン物質が出ます。

よく、認知症の初期には海馬の刺激を積極的にし、快適



南プロバンスのラベンダー刈り風景（2006.7.10）

な刺激そして意欲を持たせて生活にメリハリを持たせるケアに香りのエッセンスを使ってみてはどうでしょう。お年よりは、柑橘系や樹木の香りが好きなようです。

視床下部は・脳下垂体は食欲・性の関わり・体温調節・ホルモン調節に働きかけます。認知症の進行に伴いこの部分の脳が障害されると、手もかかることからよく問題行動と受け止められがちです。この時期は不安や恐怖感があり、必死で自分で自分を守ろうとしたり被害的になったりします。このような時にこそ、アロマケアでさりげないタッチングで安心させることが、症状緩和につながります。血行不良時の時には、足浴に精油を取り入れることで、さら湯足浴とでは、体温の保持時間が違います。

当STは、アロマセラピーを導入して6年目を迎え、また、2年前にはドイツ流の足学のフットケアを導入いたしました。スタッフもプライベートで精油を取り入れ、健康管理をしっかりとやっているためか、自慢は「心身ともに健康である」ことです。



芳香植物、ユーカリやティートリーの前で  
左上から看護師・吉田洋子、看護師・白石夏枝、  
看護師・本吉裕子、所長・吉田廣子、看護師・宮本なぎさ

#### 今回ご協力いただいたステーション

### 医療法人社団明芳会 板橋ロイヤル訪問看護ステーション

所長 吉田廣子

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7  
TEL 03-3967-2261 FAX 03-3967-2262  
e-mail: itaroist@juno.ocn.ne.jp



《 今回、都内の訪問看護師・U.N.さんから、朝日新聞一面の記事についての投稿を頂きました。 》  
 この投稿を元に、今回はこの問題についてみんなで考えてみましょう。

### 朝日新聞「訪問看護師足りぬ技量」の 記載記事への反論

5月22日の朝日新聞の第一面に「訪問看護師進まぬ研修」というタイトルで、在宅医療を底辺で支えているナースについて「訪問看護師研修を実施していない都道府県が朝日新聞の聞き取り調査のデーターから、訪問看護師の技量が足りない」と大きく一面を飾った。私は、この記事を読んで正直凄まじい憤りを感じた。断片的な情報だけで情報を分析し、自己解釈の元に新聞という大きな伝達媒体を使って世間に公表したのである。その記事が公表された結果、訪問看護を受けている利用者が大きな不安を抱き、病院にいるナースよりも能力が劣っているというレッテルを貼られたのである。一旦貼られたレッテルを回復するまでの道のりは、長く険しいものとなることを承知の上で掲載したのであるか？媒体の安易な思考力に翻弄され、訪問看護師は窮地に追い込まれている。

私は今、訪問看護ステーションで働きはじめた。そこで目にした訪問看護師は、自分達の仕事に誇りを持ち、ひとり一人の患者に対して看護の力で日々患者を支え、病気回復へ導

いている。都内では在宅看護の研修数も多い。在宅療養をしている患者は、小さな子供から高齢者まで多岐に渡り、取り扱う病気の範囲も限りなく広く、患者を取り囲む家族も様々で、平凡なナースよりも知識や技術、接客マナーなど数段上を走っている。私は、看護師歴25年、つい一年前まで看護教師をしていた。教師時代は、都内で評判の高い数々の病院を訪れ看護のレベルを自分の目と体で体験した。その私が、我がステーションのナーススタッフをみて「ここは、看護の達人のいる場所」と思った。看護学校は実践の科学であり、看護実践の裏側には科学的根拠がある。

現在の病院では、医師の診療業務が大きな割合を占めており、看護の力が手薄になっている。そんな中で、訪問看護師の看護レベルは非常に高い。その看護師達を“介護中心に発展してきた”、“当初から一時的に現場を離れていた看護師を掘り起こして活用している”と表現し、看護師間の差別に追い込んだ新聞社の責任は重い。そんなことを書くより、キャリアを積んだ訪問看護師の人材確保をどのようにしたら良いかという提案をして頂いた方が、はるかに社会に対する在宅医療への貢献の意味は大きい。(U.N.)

上記の新聞記事を読まれた方は多いと思います。みなさんはこの記事を読んでどのように感じましたか？

この記事の後、利用者さんのお宅で、“貴方も無能な看護師？”と言われた事がありますか？

介護保険が始まり6年目を迎えながらも、未だに訪問看護と訪問介護の区別がつかない方々は大勢います。

それは病院の看護師と違い、白衣を着ていないからですか？そんな問題ではありません。

同じ職である病院の看護師にも、在宅療養や訪問看護の仕事は理解されていない現在、一般の方々から市民権を得るのは難しい事だと思います。



広く大勢の方々に、訪問看護の素晴らしさを知って貰うには、  
 私達訪問看護師が何をしていけば良いでしょうか？  
 みなさんのご意見を同封の投稿用紙にご記入の上、  
 事務局までファックスをお送り下さい。お待ちしております。



(訪問看護ステーションみけ 椎名美恵子)

**ÄLCARE**

快適革命

気になるにおいを解消、  
 毎日のケアに快適な空間をお届けします!

ストーマケアソリューション デオファインパウダー NEW 新消臭剤の誕生です。

\*オストメイトの方々に本品を5回(排泄処理1回につき1包)試用いただき、「非常に効果がある30%」を含め全体で92%(53名中49名)の方から「効果あり」とのご報告をいただきました。



Innovative Solutions for  
Best Care

2つの消臭効果

ポリフェノール効果

ミントの香り効果

アルケア株式会社 <http://www.alcare.co.jp>

無料

サンプルをぜひお試しください!  
お申し込み・お問い合わせは

☎0120-770175  
(土・日・祝日を除く 午前9:00~午後5:30)



## 各委員会からの報告

### ●訪問看護推進委員会

委員長 宮崎和加子

訪問看護推進委員会では、今年度の介護保険及び診療報酬の改定による現場への影響を把握した上で、新年度の法改正に必要と思われる取り組みと、昨年度からの検案事項について検討を重ねている。具体的には下記の①②③についてである。

#### ①法改正による影響の現状把握と新規事業展開に対する実態把握のためのアンケート作成

アンケートについては法改正後に既に様々な機関が実施しており、現場の訪問看護ステーションへの負担を勘案、慎重な検討を要した。言語聴覚士の訪問看護ステーションへの導入が可能となったことや、深夜早朝の20分訪問の創設により、看護の関わりの幅が広がり、日常生活の中での看護ならではの援助の場が確保される事となった。訪問看護

ステーションの活躍への期待が高まっている中、当事者側の実情を的確に把握しておくことが重要と判断し、今回は全国訪問看護事業協会とタイアップし、厚生労働省への報告に結びつける事で、今後を睨んだ制度改正への資料として活用してゆくため、協力を仰ぐこととした。現在10月初旬の発送に向けて作成中である。

#### ②療養通所介護についての研修会の実施

今年度から制度化された療養通所介護が、現在都区内では殆んど新規参入がないという状況を踏まえ、実施実績のある事業所に実態を報告してもらうことを企画した。実施は10月20日と決定。

#### ③在宅ホスピスのスペシャリストとしての人材育成の研修を計画中

### ●ブロック支援委員会

委員長 佐々木静枝

ブロック支援委員会は夏休みをとらせていただきました。それぞれのブロック会の活動は、秋以降を予定しているところが大半です。そんな中「北多摩ブロック会」は8月活動していますので、その報告をさせていただきます。

世田谷区では8月いっぱいまで閉鎖になった訪問看護ステーションが2ヶ所ありました。どちらのステーションも長年事業されてきたところですので、とても残念です。皆様のブロックではいかがですか？

50名の参加がありました。

ターミナル期は3つに分けられます。

1. ターミナル前期：生命予後 月の単位
2. ターミナル中期：生命予後 週の単位
3. ターミナル後期：臨終前後、臨終前、臨終時、臨終後

患者さん（利用者）・ご家族に対して各期に必要なケアのポイントを、きめ細やかに、経験を交えて、わかりやすく講義をしてくださいました。参加された皆様は、多くの学びが得られたことと思います。また、今回の講演内容はがん患者様に限らず、すべての利用者様・ご家族のケアに通じることと受け止め、思いを深める貴重な時間になりました。夜は、第2部として懇親会を開催しました。17名の参加があり、山崎先生を囲み、楽しいひとときを過ごすことができました。普段はなかなか直接お話をする機会が持てない山崎先生と、ほろ酔い気分も手伝って、質問や相談も多くなりました。各ステーションの抱える問題も含め、日頃から実践していること等の情報交換もでき、有意義な時間になりました。おいしいお料理がたくさんで、話すことは尽きず、時間の経過を早く感じました。

皆様のご協力をいただき、無事ブロック会が開催できたことを、感謝いたします。北多摩ブロックは東西、南北の距離があり、集まる場所によっては、小旅行になってしまうこともあります（実は書いてある私も、立川駅に行ったのは10年以上前のことで、駅周辺の変化に驚きました）。地域の距離はあるけれども、これからも、ステーション同士が身近に感じられ、小さなことから、なんでも話し合えるようなブロック会にしていきたいと思います。

#### 東京訪問看護ステーション協議会北多摩ブロック報告

佐々訪問看護ステーション 赤坂 育子  
東大和訪問看護ステーション 篠原かおる  
武蔵野赤十字訪問看護ステーション 田中 恭子

#### 「末期がん患者のステージケアのありがた」 ～山崎章朗先生をお招きして～

北多摩ブロックは立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市、小平市、東村山市、西東京市、清瀬市、東久留米市と市の数が17にも及び広域なブロックです。

去る、平成18年8月26日に立川駅近くの立川女性総合センターにおいて、18年度第一回目の北多摩ブロック会を行いました。ホスピスの先駆者であられる、ケアタウン小平クリニック院長・聖ヨハネホスピスケア研究所所長の山崎章朗先生に講師をお願いし講演会を開催することができました。当日は8月（夏休み）最後の土曜日、小雨が降っている中、

## ▶▶ 投稿募集

「そわにえ」は会員参加型を目指しています。日頃の感じていることや、是非紹介したいおもしろ話など、何でも結構ですからお気軽に投稿用紙で送って下さい。表紙になる写真や、座談会のメンバー（男性訪問看護師、ステーションで働く事務員さんたち等計画中）、また、ダーツの旅に掲載希望のステーション、どんどん応募をお願いします。楽しい会報にして行きましょう。次回冬号発行は1月15日の予定です。お楽しみに（^o^）/

## ▶▶ 探しています

この協議会のホームページの運営に関わってくれるメンバー「ホームペ委員」を募集しています。今やネットの時代、HPの必要性は高まっています。ご協力いただける方、事務局までご連絡を！

## ▶▶ 訪問看護協議会 入会募集

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

9月30日現在の会員数

継続会員 329st 新規会員 32st 合計 361st

「広げよう仲間の輪を！手をつなごう未来のために」

## Information

平成19年3月3日・4日に日本在宅ケア学会学術集会在開催されます。ただいま一般演題を募集しています。募集期間は10月10日～11月8日まで。詳しくは日本在宅ケア学会ホームページ (<http://jahhc.umin.jp/>) にアクセスして下さい。

## 編集後記

今年の夏、「ジゼル」というバレエを観てきました。美しく悲しいストーリーに愛らしいヒロイン。そして流れるような跳躍の熊川哲也氏にうっとり。バレエなので当然セリフは無く、音楽と踊りだけで表現される感情とストーリーは感動です。皆さんも今年の秋はバレエの感動と乙女チックな気分を味わってはいかがでしょうか？

さて、今回のそわにえ秋号。朝日新聞で書かれた記事に同じように残念に感じた方も多かったはず。訪問看護師を募集してもなかなか希望者は現れず、少ない人数で日々訪問をしている私達にとっては、平日に何日間も研修に出席するのはなかなか難しいです。土日や夜の研修・講座等の出席者がいかに多いことか！！

7月には就職斡旋のための看護イベントに参加しました。訪問看護、そして私達の日々の努力をもっとアピールし「訪問看護ってすごい！訪問看護をやりたい！」と思ってもらえるよう広報委員も頑張っていきます。（広報委員・堀村也千世）

投稿、広告につきましては、[fresca@r3.dion.ne.jp](mailto:fresca@r3.dion.ne.jp) ステーションみけ 椎名までお問い合わせ下さい。



羽毛ふとんのことなら  
<http://www.toyoumo.co.jp>

## 元気を育てる眠りをつくろう。

呼吸をする。食事をする。毎日の何気ない暮らしの中に、生きていくことや健康で過ごすことに大切なものがあります。眠りもその一つです。元気な生活と睡眠は切っても切れない深い関係。全ての人々が元気に過ごせる心地よい眠りをつくろう——。それが東洋羽毛の願いです。



**TUK 東洋羽毛**

東京営業所 0120-195-804 西東京営業所 0120-218-104 南東京営業所 0120-559-070

羽毛ふとんの点検やアフターサービスと称して、不当な買い替えや、クリーニングをすすめる悪徳訪問業者が増えています。十分ご注意下さい。

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤

指定医薬品・処方せん医薬品(注)

(注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること



# フィブラスト®スプレー 250/500

**FIBLAST® Spray 250/500** トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤 **薬価基準収載**

● 効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照ください。

製造販売元

[資料請求先]



**科研製薬株式会社**

〒113-8650 東京都文京区本駒込二丁目28-8

(2006年4月作成) 06X